

にぎわい 通信 唐津港

221号(九州)



九州からは、唐津市より
注目のニュースについて
ご紹介させていただきます。

1868  2018

肥前さが 幕末維新博覧会

佐賀さいこう博
150th ANNIVERSARY

2018 3.17^土 – 2019 1.14^{月祝}

2018 年の「明治維新 150 年」に合わせ、佐賀県では幕末維新期の佐賀の偉人や偉業を顕彰・発信するイベント『肥前さが幕末維新博覧会』が佐賀県内各地で開催されています。ここ唐津市でも幕末維新期から明治にかけての歴史や近代化等に貢献された唐津の偉人などをたたえるイベントを随時実施しています。



幕末維新期の唐津

幕末維新期の唐津は、徳川幕府の譜代大名という位置づけのもとで、最後まで徳川家に忠誠を尽くし明治新政府に抵抗しましたが、ついに降伏。賊軍としてのレッテルを貼られ明治維新を迎えた唐津藩は、これまでの思想や方針を 180 度変更し、英学校としての「耐恒寮(たいこうりょう)」に代表されるように、明治という国家や近代化に適合できる人材育成と人材の輩出を目指しました。この動きに応えるように辰野金吾(たつのきんご)、曾禰達蔵(そねたつぞう)、天野為之(あまのたためゆき)、長谷川芳之助(はせがわよしのすけ)、大島小太郎(おおしまこたろう)など、近代的な建築学や経済学、法学などを学び、明治期の日本や唐津の最前線で活躍できる人材が多数輩出されました。

また、唐津の近代化を語る上で重要なのが石炭です。幕末から維

新期にかけての唐津の石炭の出炭量は、全国の約 3 分の 1 にまで及び、新政府軍として戦った薩摩藩、熊本藩、久留米藩、佐賀藩も唐津で石炭採掘を行っていました。特に明治維新の立役者の薩摩藩などは、唐津の石炭がなかったら、軍艦(蒸気船)を動かすこともできなかったでしょう。このように、幕末維新期のエネルギー源を、唐津が大きく支えていたといっても過言ではありません。これらの石炭は、明治以降、唐津の鉄道施設や国際港としての港湾整備、さらには電気の普及などのインフラ整備の要因にもつながり、唐津の近代化を推進し、経済を潤す大きな原動力にもなりました。

イベント・企画展などの情報

唐津サテライト館

旧唐津銀行が「肥前さが幕末維新博覧会」のサテライト館になります。博覧会期間中は、幕末維新期を中心に活躍した唐津の偉人やその偉業、偉人の志を体感できます。150 年前の唐津のキセキ(奇跡、軌跡)に、今を生きる私たちの未来のヒントを感じてください。



旧唐津銀行

住所：唐津市本町 1513-15

休館日：年末(平成 12 月 29 日から平成 12 月 31 日まで)

入館料：無料

イベント情報



企画展「唐津藩と明治維新(仮称)」

場所：唐津市近代図書館（唐津市新興町 23）

期間：8 月～9 月（予定） 主催：唐津市

企画展「高橋是清と辰野金吾－唐津藩洋学校耐恒寮をめぐる人々－」

場所：佐賀県立名護屋城博物館（唐津市鎮西町名護屋 1931-3）

期間：7 月 20 日～8 月 31 日

主催：佐賀県

問い合わせ

唐津市明治維新 150 年事業推進室

電話：0955-72-9115 メール：kikaku@city.karatsu.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.karatsu.lg.jp/meijiishin/meijiishintop.html>

